公立高校入試情報　　長野県

【数学】

令和5年度長野県入試の全体傾向

○大問数４題，小問数は34問でほぼ例年通り。
○大問１は小問集合，大問２は箱ひげ図(今年初めて)，数の規則性，
　大問３は関数の利用と図形との融合，大問４は円と相似の証明を
　含む三平方の定理の問題が出た。
○今年初めて出題された大問２の箱ひげ図の問題は，難しくはないが，
　データを正しく読み取って比較する力が必要で，類題に慣れておくとよい。
○全体的に，基本的な内容や手順が理解できているかをみる知識の問題や，
　長い文章やデータを読みとる力，表現力をみる問題の割合が高い。

■　読解力・表現力をみる問題の出題

・問題文をしっかり読みとり，理由や考え方を説明する必要のある，読解力・表現力をみる問題がよく出題されている。落ち着いて取り組めるよう，解答形式に慣れておく必要がある。

■　三平方の定理を利用した問題の出題

・体積や面積などの三平方の定理を利用した問題が例年出題されている。円周角の定理と組み合わせた問題もよく出題されるので，対策が必要である。

★長野県入試出題内容別・形式別傾向分析（過去4年間）

		単元名／項目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式		●	●	
		方程式	●	●		
		比例と反比例	●	●	●	●
		平面図形	●	●	●	●
		空間図形	●	●	●	●
		データの分析と活用	●	●	●	●
	2年内容	式の計算	●	●		●
		連立方程式			●	●
		1次関数	●	●		●
		図形の調べ方		●	●	●
		三角形	●	●		●
		平行四辺形	●	●	●	●
		確率	●	●	●	●
		データの比較と箱ひげ図				●
	3年内容	式の計算	●			●
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式	●	●	●	●
		関数$y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●	●	●
		円の性質	●	●	●	●
		三平方の定理	●		●	●
		標本調査			●	
出題形式別の傾向	大問数		4	4	4	4
	小問数		33	33	33	34
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1	1
		その他の説明・証明など	1	4	2	1
		立式・解法の過程の記述	2			
		作図(図形)	1	1	1	1
		作図(グラフ)		1		